

イノベーション交流会 実証活動報告

■ まとめ

高速道路のトリップデータ、駐車場の混雑状況、休憩施設の利用実態データをマッチングさせることで、駐車場の混雑が発生する原因となる滞在時間の長い店舗や通路の混雑原因となる動線上の店舗配置など今まで組合せて分析できなかった部分の補完が可能となる。

更に混雑の原因となる行動分析も可能となり、より快適にご利用いただけるサービス改善の高度化が図れるようになる。

■ 今後の取組み予定

リニューアルなどを計画している SAPA に試行的に設置し、お客さまの利用動向を把握し、施設計画検討やテナント配置計画の基礎資料として活用し、お客さまの利便性やサービス向上を検討する。また、定期的におこなっている利用実態調査の省力化と高度化を検討する。

■ 先進技術保有企業

株式会社フジミック 他

■ 実証に関する問合せ窓口

保全企画本部 i-MOVEMENT 推進室
(イノベーション交流会 事務局運営)